

オアシスの森くらぶ

ニュースレター19号 2003. 9. 27発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 永田 修二
編集人 近藤 眞史
編集長 五十川 幸夫

5月定例活動「相生山緑地、森の探検隊」

小池 敦夫

都市計画緑地である相生山緑地は計画面積123.4ha、その内北側のおよそ20haが我々のフィールドとなっている"オアシスの森"です。

5月24日(土)、今日は普段歩き慣れているオアシスの森を離れて、南側に広がる相生山緑地全体を探検しました。講師は森林公園や日進などで自然観察を指導している鬼頭弘さん。歩き回っている途中、センダンの花を始め、ガマズミやイボタノキ、スイカズラからクロミノニシゴリの花までいろいろな木が花を咲かせていた。また、足元に目を向ければ、ムラサキカタバミの鮮やかな花からコ克蘭も見つけました。

そして、チョウヤクモの観察をしつづ、緑地内に点在する「葉書記念塔」や「白滝池(残念ながら今は水が抜かれている)」から「相生山観音」といった文化財まで、ぐるっと一周。

踏み分け道をつたいながら広い緑地内を歩き回り、オアシスの森とはまた違った良さとこの緑地の広大さなど新たな魅力をいくつも発見しました。

湧き水の源泉を見つけて
喜び隊員(?)たち



リコー中部 グリーンプロモーション助成対象 に選定されました！！

リコー中部(株)では社会貢献プログラムとして、2002年度より地域環境活動助成「グリーンプロモーション」を進めています。今年度はこの助成に中部地方7県の活動団体から、53件の応募がありましたが、我が「オアシスの森くらぶ」が見事助成対象の5団体に選定されました。

森くらぶからは、活動テーマを「人と自然・共生体感の森づくりプロジェクト」と題し、9月と10月の「竹林整備」、来年1月の「ツツジの園づくり」、同じく2月の「アカマツ林の再生」の4つの定例活動を対象として応募しました。2年目となる今回は、「リコー製品を利用する顧客や社員などへの広がりが期待できること」を選考基準の一つとして明確に打ち出されたそうです。

助成金授与式で記念撮影
(天白生涯学習C・美術室にて)



ホームページに掲載されている審査講評によると「都市生活者に自然との共生関係を学べる機会を提供し、森と関わる市民の発掘・交流、そして森を暮らしに活かすライフスタイルの普及に繋がること」が高く評価されたようです。

リコーでは、顧客や社員が投票というかたちで助成テーマの選考に参加する、あるいは助成テーマが行われる地域の社員が活動に参加することによって、顧客・社員が環境問題

や地域の活動に関心をもつ一つの機会にしていきたいと考えているそうです。20万円の助成金は、野外講義用メガホンやクマデ・オノなどの機材や印刷費・通信費・会場費等の事務経費に有効に活用していきたいと考えています。企業とのパートナーシップ事業といえるこの助成を契機に、5年間の活動で培った森くらぶのチームワークと里山保全のノウハウを活かし、また新しいオアシスの森の仲間を迎えたいと思います。(眞弓)

6月定例活動「トンボ池周辺グレードアップ作戦」

大館 学

今年は昨年に比べ雨の降る日が多く、本当にうとうしい梅雨の毎日が続いていましたが、そんな中、6月の定例活動は「トンボ池周辺グレードアップ作戦」と題して草ぼうぼうのトンボ池周辺をきれいにする取り組みを行いました。昨夜からの雨はあがったものの、梅雨空の下、三々五々集いの広場に集まった10時ごろには、急に降り出した雨でやる気が急速に減退。一方で、雨合羽を着込んでやる気満々で参加するものあり、結局「じゃあ やろうか。」となり、トンボ池に向かう。(参加者：村田、中島、野浪、伊藤、小池、阪井兄妹、大館、伊藤晶)

まずは草刈からということで、大鎌のこぎり鎌などを手にトンボ池のまわりから草刈にかかる。よくしたもので、作業にかかると同時に雨は上がったものの、湿度100%の劣悪な環境の中、黙々と作業をする。いつものことだが、大勢で作業を行うと仕事のはかどりはすこぶるいい。そのうち小池さんが操作する草刈機のエンジン音が響くようになり池の周りや池の中に生えた草もきれいに刈り払われた。



さて、今回のトンボ池のクリーンアップに合わせてどうしても確認しておきたいことがあった。それは、「トンボ池にトンボのヤゴはいるのか？」である。今回、野浪さんが池のガマの葉にヤンマの抜け殻を見つけたし、トンボは飛んできているのだから、いるに決まっているのだが、好奇心の旺盛な中高年としてはやはり自分の目で確認しなけりゃ意味がない。そこで、小屋からタモと虫かごを出してきて、トンボ池の中をタモですくってみたら……。いました、いました。それも一回すくうたびに2~3匹のヤゴが。それもアカトンボ型、シオカラトンボ型、ヤンマ型といろんな種類のヤゴが。ここでヤゴの同定方法について。ヤンマ型は4cmくらい大型のヤゴ、アカトンボ型は上から見ると頭部が逆三角形をしていて、シオカラトンボ型は長方形であることから容易に同定できます。



荒池での活動に参加されていて今回オアシスの森の活動を見学に来ていた阪井さんからジューズの差し入れを頂き、ここで昼ごはん。午後からは引き続き池の清掃と、ヨシヅ張りの作業。トンボ池は水深が浅く、夏になると水がお湯のようになり、また蒸発も激しいのでヨシヅを張ってこれを緩和しようという作戦です。池の両端に杭を打ち青竹で桁を渡しヨシヅを張りました。最後に池畔のクルミの木陰に杉の丸太でベンチを作り本日の作業は終わり。新装オープンとなったニュートンボ池に早速シオカラトンボのペアリングカップルが飛んできて産卵をしていました。めでたし、めでたし。



トンボ池で見つかったヤゴ(左)と抜け殻(上)



過酷な気象条件にもめげず、草刈りなどに汗を流す参加者

作業終了後、言いしれぬ達成感に浸る……。

皆さん、本当にお疲れさまでした！



7月定例活動「森のレスキュー」

近藤 真史

暑さとヤブ蚊との戦い。それは夏場に森で活動する時のいわば宿命とも言える過酷な試練ですよね～。

…そんなわけで、今年度の7・8月の定例活動は、最初からその試練を避けてしまおう！それなら室内での講習会をやるよ、ということで、7月は「森のレスキュー」を開催することになりました。

これまで何度か、救急の講習は行ってきましたが、こうした技術はほとんど使う機会がなく（ない方がいいに決まっていますが…）記憶が薄れていることや、心肺蘇生法などあまり森での活動に直結しにくい内容もあったりしていたので、今回はケガや捻挫といった私達の活動に遭遇しがちな内容で、1日みっちり講習を受けることにしました。

今回講習をお願いしたのは「日本赤十字社愛知県支部」。まずは、小池さ

んが同支部に出向き、どのような手続きを取るのか確認していただきました。その後は、近藤が引き継ぎ、希望受講内容を「午前：傷と止血、包帯、午後：骨折、脱臼、捻挫」として”指導者派遣申請書”を提出。後日、同支部担当者から連絡を頂き、直接派遣指導員と電話にて講習内容について細部の打ち合わせ、といった行程を踏みました。また、前日には同支部まで出向き、用具の貸し出しを受けました。

準備の都合上、ある程度参加人数を把握しておく必要があったため、事前に参加希望者を募り、東山公園南部公園愛護会など他で活動されている方も参加していただき、ほぼ当初予定していた15名ほどが講習を受けることになりました。

当日は、相生コミセン2Fの会議室で、日高さんという熟練の指導員が、分かりやすく、また楽しく講習会を進めて

下さいました。

色々なことを習ったなかで、特に「三角巾」は止血するにしても、骨折などで患部を固定するにしても、様々な使用方法があり、万能とも言える威力を発揮する救急道具だなあ、といった印象を受けました。

森での活動の際には参加者がそれぞれ1枚ずつ三角巾を携帯していれば、きっと緊急時には役立つと思います。

当日参加した皆さんが、習得した技術を発揮する機会に巡り会うことなく、でも忘れることのないようにできればいいですね。（そんなこと無理か?!）

（追伸）

貸し出しを受けた用具は、次の月曜日に返却する必要があります。仕事の都合もあって、できればもう少し融通してもらえるとありがたかったなあ…。

8月定例活動「虫の竹工作」

中島 己治男

8月23日（土）猛暑の中多数出席のもと10：00～15：00まで天白生涯学習センター美術室にて虫の竹工作を実施しました。

工作の前に愛知リコー様より奨励金がいただけることになり愛知リコー様5名がわざわざ来場いただき奨励金の授与式、意見交換、記念撮影等が行われました。

虫の竹工作は、トンボ、セミ、カブトムシの3種類で1日で完成するか心配していましたが皆様の手際がよく無事時間内に完成することができました。

出来栄は、セミ、トンボ、カブトムシ、ハエ、ゴキブリ等各自のアドリブにて非常にユニークなものもあり楽しい工作が出来ました。

ぜひどんぐり祭りでは、今回の工作を即売できるようにたくさん準備願います。

今回工作のために竹ノコギリ10丁、カッター10丁、剪定バサミ5丁、ナタ5丁、丸ノミ5丁、キリ5本、金物差5本を購入しました。小屋に入れておきますので皆様で有効利用してください。

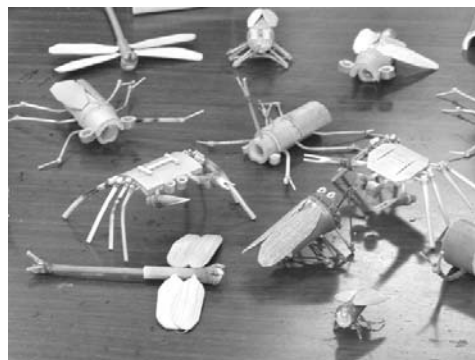
最後に今回の工作で虫の試作、材料集めに協力していただきました伊藤さん、ありがとうございました。



自分たちで作った竹の虫を前にニッコリ(o^o)v



竹工作に熱中する参加者たち



トンボ、セミ、カブトムシのほか、作る前は想像していなかったいろいろな虫たちも…

「第5回どんぐり祭り」今年もやりますよ～！！

半月ほども遅れた夏がやっと過ぎたところで、相生山にも秋の気配が漂いはじめ、ついに今年も「どんぐり祭り」の時期がやって参りました。

昨年に引き続き、ツリーハガーズによる「木登り体験会」や、今年8月の定例会で腕を磨いたスタッフの手ほどきによる「竹の昆虫づくり」、さらに「炭焼き体験会」など、楽しいイベントが盛りだくさん！

10月25日（土）10時スタートです。子どもから大人まで、秋の一日を相生山で気持ちよく過ごしてみませんか？

ちょっと最近ご無沙汰かな？という会員の皆さんも是非参加して下さいね！



自分たちで飾り付けしたみこしをかついでワッショイ！ワッショイ！



ロープを使った木登りで、子どもでも楽しめるよ

主なイベント（予定）

●元祖！柴刈り大会（森の管理作業体験）

●木登り体験会

●炭焼き体験会

●竹の昆虫づくり

●自然観察会

●どんぐりみこし

●森のレストラン（とん汁など）

炭焼き体験会参加者には竹炭のおみやげを差し上げます！

☆参加費／1000円（保険代を含む）

☆雨天でもやります

☆森のレストランでは食事はありませんので、必要な方はお弁当など持参して下さい

会員募集中！

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円（保険料含む）です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先（郵便局）
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725
連絡は事務局までどうぞ

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

10月25日(土) 第5回どんぐり祭り

11月22日(土) 竹林管理と竹炭焼き
(兼: 里山体験会)

12月27日(土) 松竹梅と野辺の小径・山根口クリーンアップ

1月24日(土) ツツジのグレードアップ柴刈り

2月28日(土) アカマツ林再生

3月27日(土) 第6回萌え木祭り

■参加申込みやお問合せなど

事務局
伊藤百寿人 052-895-8523
中島己治男 052-803-9534

■ニュースレターをメールで配信

申込先
e-mail: isoiso@eva.hi-ho.ne.jp
e-mail: masashi_k@muf.biglobe.ne.jp

■ホームページをご覧下さい

e-mail: yoji-toyo@amy.hi-ho.ne.jp
URL address:
http://www.amy.hi-ho.ne.jp/yoji-toyo/mori-club/oac-index.html

森くらぶ
情報センター